

予算審査特別委員会

第69号議案・平成29年度白石市一般会計補正予算(第4号)から第74号議案・平成29年度白石市下水道事業会計補正予算(第1号)の計6議案について、定例会3日目(9月11日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・菊地忠久、副委員長・佐藤秀行)は、9月14日に審査を行い、すべての議案について、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第4号)

商工費

〔質疑〕空き店舗対策事業補助金として100万円が計上されているが、新しく申請されている方の業種や雇用の見込みについて伺う。

〔答弁〕現在、米沢で携帯電話等の修理サービス会社に勤務されている方が相談に来て

土木費

いる。白石市を中心として仙南、それから福島県北を補うような形でこのことだが、雇用関係についてはまだ確認していない。

ぜひ白石市にきたいという相談をいただいていることから、予算を計上したものである。

〔質疑〕花木栽培実証試験業務委託料について、100万円の減額理由を伺う。

〔答弁〕この業務委託は、市内公園を利用し、花と緑に浸り、楽しみ、そして産業に結びつける仕組みを構築することを目的に、新たな加工等による収益と観光をあわせ持つ花木の栽培試験を行うということで、昨年度からスパッシュランドパークにラベンダーを栽培している。

昨年度植えたラベンダーの成育が非常に悪かったことから、今年度も新たに植える予定だったが、昨年度植えたラベンダーの成育管理をしたほうがよいとなり、新しく植える分を減らしたため、予算を減額したものである。

教育費

〔質疑〕オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業について、女子新体操ベラルーシ代表チーム選手、さらにはブラインドサッカー選手との交流事業を行うとあり、大平小学校、東中学校がその対象校で、事業内容

については、今後具体化していくとある。

このことについて、この事業がそもそも単年度の事業なのか、それとも2020年オリンピック開催に向けて、今後3年間継続してほかの小中学校も同様に交流を図ろうと考えているのか伺う。

〔答弁〕この事業は単年度事業であるが、希望すれば上限3年まで継続することができる。

継続については、今年度の大平小学校、東中学校の取り組み状況や成果等を見ながら、今後、検討していきたい。

◎平成29年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)

〔質疑〕有収率向上基本計画策定業務について、3カ年計画で行なっていくとのことだが、平成28年度の有収率が70.85%、平成26年度から比べると4.1%も減っている。

基本計画策定にあたり、どのように実施していくのか伺う。

〔答弁〕有収率の低下については非常に苦慮しており、旧来の漏水調査だけでは、改善できない状況である。

現在、漏水調査は、おおむね5カ年から6カ年程度で白石市内を一巡するようペースで行なっているが、その中では顕著な漏水は発見されていない。しかし、数字は確実に低下していることから、今回の基本計画を策定するものである。

今年度は、自己水源系統と広域水道から受水している系統の2系統について、水系別の配水量を分析する。また、要所において実際流れている流量を一定期間監視し、変化を見ていく。

また、施設を総点検し、その可能性のある施設あるいは管路、区間を抽出して詳細な調査を行い、これらの成果を受け、来年度、再来年度において、さらに追加調査を行う予定である。

このことを踏まえ、3年後の有収率の目標を80%とし、まずはこれを達成していきたいと考えている。